

## 6. 発表業績

### (1) 学術誌等での発表

#### ○ 学術誌での発表

- ・ 宍道湖, 中海におけるワカサギの産卵場と産卵期：藤川裕司・片山知史, 水産増殖, **62**(4), 375-384 (2014. 12).
- ・ 半屋外 100kl 水槽を用いたイワガキ *Crassostrea nippona* 付着期幼生の生産の試み：佐々木正・常盤 茂, 水産増殖, **62**(4), 433-440 (2014. 12).

・島根県東部におけるゴミ生息状況調査（2013年）：曾田一志・福井克也・沖野 晃，ホシザキグリーン財団研究報告，**18**, 103-109（2015.3）.

○ 学会・研究集会等での口頭発表

・中海の水産資源の復活：開内 洋，「将来の農林水産業を支える技術開発プロジェクト」中間成果発表会，資料配付（2014.8）.

・島根県沖合底びき網漁業における機動的禁漁区の設置によるアカムツ若齢魚の資源保護効果の検討：宮原寿恵・原田泰志・井上誠章・金岩 稔・高澤拓哉・道根 淳・沖野 晃・村山達朗，平成26年度日本水産学会秋季大会要旨集（2014.9）.

・宍道湖におけるヤマトシジミの資源量の推移：勢村 均・向井哲也・若林英人，第6回汽水域研究会網走大会要旨集（2014.10）.

・島根県の藻場調査について：吉田太輔，西部日本海ブロック増養殖担当者会議，資料配布（2014.11）.

・島根県におけるヒラメ稚魚のシュードモナス症について：吉田太輔，西部日本海ブロック魚類防疫対策協議会，資料配付（2014.10）.

・島根県沖合におけるアカムツ未成魚漁獲予測モデルの予測能とその効果検証：高澤拓哉・金岩 稔・原田泰志・宮原寿恵・道根 淳・沖野 晃・村山達朗，2014年度水産海洋学会研究発表大会要旨集（2014.11）.

・養殖ホンモロコの鮮度：岡本 満・井岡 久・石原成嗣，平成26年度水産利用研究開発推進会議利用加工技術部会研究会資料，12-13（2014.11）.

・沖合底びき網漁業の冷海水使用によるムシガレイの高鮮度化：岡本 満・井岡 久・石原成嗣・村山達朗・沖野 晃・齋藤寛之・細田 昇・佐藤勇介・安木 茂，平成26年度水産利用研究開発推進会議利用加工技術部会研究会資料，14-15（2014.11）.

・沖合底びき網で漁獲されたタイ類の脂質含量：石原成嗣・井岡 久・岡本 満，平成26年度水産利用研究開発推進会議利用加工技術部会研究会資料，36-37（2014.11）.

・高鮮度ムシガレイのフィレー：岡本 満，第20回低・未利用資源有効利用研究連絡会，資料配布（2014.11）.

・中海におけるアサリ籠養殖試験について：開内 洋，平成26年度西部日本海ブロック増養殖会議（2014.11）.

・宍道湖、中海におけるワカサギの産卵場と産卵期：藤川裕司・片山知史，島根大学汽水域研究センター第22回汽水域研究発表会講演要旨集，p.51（2015.1）.

・中海のサルボウガイについて：開内 洋，島根大学研究機構汽水域研究センター第22回汽水域研究発表会要旨集，p.33（2015.1）.

・江の川におけるアユ仔魚の降下時間推定の試み：寺門弘悦、曾田一志、赤松良久，全国湖沼河川養殖研究会アユ資源研究部会報告書（平成26年度），p.25-26（2015.2）.

- ・島根県におけるヒラメ稚魚のシュードモナス症について：吉田太輔，中国 5 県水産系広域連携担当者会議（種苗生産技術グループ），資料配付（2015. 2）.
- ・島根県中海におけるサルボウガイの籠垂下養殖技術の開発について：開内 洋：平成 26 年度日本海ブロック水産業関係研究開発推進会議増養殖研究会要旨集, p. 18（2015. 2）.
- ・島根県浜田地区（浜田港における沖合底びき網漁業構造改革の取組）：村山達朗・道根 淳，日本水産学会第 65 回漁業懇話会講演会「沿岸域における漁船漁業ビジネスモデル研究」. p. 19-23（2015. 3）.
- ・島根県沖合底びき網漁具の抵抗軽減に関する模型実験：山根万知・江幡恵吾・沖野 晃・鈴木勝也，平成 27 年度日本水産学会春季大会要旨集（2015. 3）.
- ・クロマグロ 0 歳魚加入量の広域的なリアルタイムモニタリング体制の構築：大島和浩・鶴岡鯨魚・鈴木伸明・山田浩且・御所豊穂・杉本昌彦・東 明浩・高木信夫・寺門弘悦・向井哲也，平成 27 年度日本水産学会春季大会要旨集（2015. 3）.
- ・冷却時の海水温度によるタイ類の色調：岡本 満・井岡 久・石原成嗣・永田善明，平成 26 年度水産物の利用に関する共同研究第 55 集，37-38（2015. 3）.
- ・沖合底びき網で漁獲されたタイ類の脂質含量：石原成嗣・井岡 久・岡本 満，平成 26 年度水産物の利用に関する共同研究第 55 集，p. 39-42（2015. 3）.
- ・島根県の藻場調査について：吉田太輔，中国 5 県公設試験研究機関共同研究（藻場造成技術の確立・ガラモ場）担当者会議，資料配付（2015. 3）.
- ・食用小型藻類の養殖技術開発試験について：吉田太輔，中国 5 県公設試験研究機関共同研究（藻場造成技術の確立・ガラモ場）担当者会議，資料配付（2015. 3）.

## (2) 報道実績

日付	新聞社・報道局等	内容	担当部署
H26. 4. 12	島根日日新聞	漁師育成のアカアマダイ放流/広がり期待	浅海科
H26. 4. 25	山陰中央新報	高津川アユ遡上遅れ 昨秋台風で卵流される？	内水面科
H26. 4. 25	山陰中央新報	中海産アサリ初出荷 約 50 キロ、小ぶり目立つ	浅海科
H26. 5. 3	中国新聞	深海生物相次ぎ発見 山陰の日本海でダイオウイカやサケガシラ	浅海科
H26. 6. 7	山陰中央新報	幻の源流魚・ゴギ 横道川(津和野)で体長 35 センチ	内水面科
H26. 6. 11	山陰中央新報	コノシロ死骸 宍道湖で 6933 匹 産卵後の疲弊か	内水面科
H26. 6. 11	島根日日新聞	6933 匹に拡大/宍道湖のコノシロ死	内水面科
H26. 6. 21	山陰中央新報	付着のフジツボミキサーで除去 サルボウガイ磨きに効果	浅海科
H26. 6. 23	島根日日新聞	コノシロのへい死 2 万匹以上に	内水面科
H26. 6. 25	島根日日新聞	漁解禁もアユ釣れず/専門家による調査へ	内水面科
H26. 7. 16	水産経済新聞	島根 25 年漁期底びき網漁業の動向	海洋資源科
H26. 8. 5	島根日日新聞	宍道湖のシジミ大幅回復	内水面科

日付	新聞社・報道局等	内容	担当部署
H26. 8. 9	山陰中央新報	税金の使い道児童学ぶ 松江 関係施設見学ツアー	浅海科
H26. 8. 18	中国新聞	すごいぞ！島根の日本一④ 47.3%(干シカレイ生産量シェア)	利用化学科
H26. 9. 17	みなと新聞	宍道湖のシジミ漁好転 資源回復 2.8 倍に	内水面科
H26. 9. 18	島根日日新聞	有害赤潮 7 年ぶり発生/県が警報	浅海科
H26. 9. 25	中国新聞	海藻減り漁場喪失 進む磯焼け 県が藻場調査	浅海科
H26. 10. 16	中国新聞	どんちっちアジ水揚げ低調 浜田漁港 春の水温低下影響か	漁業生産部
H26. 11. 20	島根日日新聞	マイワシは期待できず/今年度下半期漁況予報	海洋資源科
H27. 1. 1	山陰経済ウイークリー	ミズガレイを刺身で食べる取り組み始まる	利用化学科
H27. 1. 18	山陰中央新報	ワカサギ釣り楽しめる尾原ダムに 生息調査 今年は 1 匹	内水面科
H27. 1. 26	中国新聞	今冬 マフグが豊漁 新たな看板魚種に期待	海洋資源科
H27. 1. 29	みなと新聞	マダラ 6.1 トン 98 年以降最高に 島根小型底引 14 年漁期前半	海洋資源科
H27. 1. 29	みなと新聞	単価高で金額 2%増 数量はシケなどで減少 島根沖底 14 年漁期前半	海洋資源科
H27. 1. 29	読売新聞	底引き網漁 水揚げ 7 億円 浜田港 8~12 月 過去 10 年で 2 番目	海洋資源科
H27. 2. 2	水産経済新聞	小底、金額・漁獲とも減 島根の底引網漁 台風などで出漁日減	海洋資源科
H27. 2. 28	朝日新聞	食べぶら 色とりどり 海の神秘 海士のヒオウギ貝(上)	栽培漁業科
H27. 3. 8	島根日日新聞	魚介類の調査と研究成果発表/宍道湖・中海再生構想委	内水面科
H27. 3. 15	山陰中央新報	アマサギ明るい兆し 今冬 615 匹漁獲 夏の低い水温好影響	内水面科
H27. 3. 17	山陰中央新報	中海赤貝 来年度出荷 5 トン目指す 稚貝増やし量確保	浅海科
H27. 3. 17	島根日日新聞	昨年の県漁業、生産額は 194 億円で 102%	海洋資源科

(3) 情報提供一覧（関係機関へ情報提供するとともにホームページで公開）

	漁業生産部			内水面科	各部共通			
	トビウオ通信	トビウオ通信 漁況速報	海況情報	宍道湖・中海水質 情報 大橋川水質情報	とびつくす	水産技術セン ターだより	事業年報	研究報告
内容	主要魚種の漁況予報、主要漁業の漁況のとりまとめ	県内主要漁業(まき網、いか釣り、沖合底びき網、小型底びき網、定置網、釣り・縄)の漁獲統計、沿岸水温の情報提供	試験船による海洋観測終了後、近隣海域の情報を加えた等温線図、平年偏差図の情報の提供	宍道湖・中海の水質情報と松江大橋橋脚下における水質・流況情報の提供	海洋、内水面における研究成果や話題性のあるテーマを掲載	新規研究課題の紹介、研究成果の公表、話題、主要事業等の情報	各研究課題の結果概要	事業遂行で得られた研究成果
H26 4月	平成26年度上半期浮魚中期漁況予報	毎月発行	○	宍道湖・中海水質調査は月1回 行い、ホームページで公開。 大橋川水質情報はホームページで1時間ごと自動更新	No.71 マイワシ資源科回復?H9年以降で最高の漁獲	第9号発行 (6月)		
5月	平成26年度第1回日本海スルメイカ漁況予報		○					
6月			○					
7月	平成25年漁期の底びき網漁業の動向 平成26年度第2回スルメイカ漁況予報		○					
8月	マアジ新規加入量調査結果速報		○					
9月			○					
10月	平成26年夏の漁況を振り返って		○					
11月	平成26年度下半期浮魚中長期漁況予報		○					
12月			○					
H27 1月	平成26年漁期前半の底びき網漁業の動向							
2月								
3月	平成26年(2014年)の島根県漁業の動向		○					